※令和３年度以前入学生用

| 学校番号 | 414 |
|---|---|

# 令和５年度　英語科

| 教科 | 科目 | 単位数 | 指導学年 | 教材名・副教材名 |
|---|---|---|---|---|
| 英語 | 異文化理解 | 2 | 第３学年 | Going Global　（数研出版）<br>SDGs 英語長文（三省堂）<br>自主作成教材 |

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

異文化理解の授業では、世界や社会の様々な問題を扱った英文を通して、広く世界に目を向け、各自の視野や興味の範囲を広げることを目標とします。ですから、英文を理解すること（読むこと）はもちろんではありますが、さらに、その題材に対する自分の意見をまとめ（書くこと）、それを相手に伝えること（話すこと）にも重点を置いた科目となっています。また時には海外のニュースを聞く活動も取りいれ、英語の４技能をバランスよく伸長することを目指します。ＣＡＬＬ教室や LAN 教室で機器を活用しながら、特に英語を「話す」、「聞く」活動が中心となる授業ですので、何度も trial and error を繰り返しながらトレーニングをして、使える英語の技能を身につけましょう。そのため、評価方法も一般的な筆記試験だけではなく、発表などのパフォーマンス評価も取り入れます。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第３学年】

履修科目：「英語理解」（３単位）及び「英語表現」（４単位）「異文化理解」（２単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

| 話すこと | | 書くこと | | 聞くこと | | 読むこと | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 学習到達目標 | 科目･評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目・評価 | 学習到達目標 | 科目･評価 |
| ①　病院や役所など公共の施設において、自分の要求することを正確に説明して、必要な手続きを滞りなく済ませることができる。<br>②　論点の明らかな英文を読み、また、話された英文を聞いて、それぞれのポイントを捉えて、その概要を簡潔に話すことができる。 | 英語表現<br><br>スピーチ<br>リテリング<br>サマリー | ①　旅行などの自分の行動について、物事の順を追って筋道立った文章をいくつかの段落で書くことができる。<br>②　興味のある社会的なトピックに関して、読んだり聞いたりした内容の要点を文章で書くことができる。 | 英語理解<br><br>エッセイ<br>定期考査 | ①　自然な速さで話される観光地での説明やガイドなどのアナウンスを聞いて、大切なポイントをもらさず概要を把握することができる。<br>②　はっきりと話されれば、身近なトピックについての短いニュースの要点を聞き取ることができる。 | 英語表現<br><br>リスニングテスト | ①　小説などを読み、背景を踏まえ事実関係だけではなく、登場人物の気持ちなどを把握し、気持ちに応じて適切な速度や声の調子で音読することができる。<br>②　やさしい英語で書かれた物語を読み切り、全体の筋を理解することができる。 | 英語表現<br>異文化理解<br><br>定期考査 |

※令和３年度以前入学生用

３　学習評価(評価の観点と実施方法)

| 観点 | コミュニケーションへの関心・意欲・態度 | 英語表現の能力 | 英語理解の能力 | 言語や文化についての知識理解 |
|---|---|---|---|---|
| 実施方法 | コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。 | CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。 | CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。 | 英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。<br>学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | | |

４　学習の活動

| 単元(配当時間) | 題材内容 | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| TOPIC1<br>(　５時間) | Will Mt. Fuji Remain a World Heritage Site?<br>(Going Global より) | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | 世界遺産が抱える問題について考え、互いに協力しながら会話を続ける。 | 各セクションを読む前に、未習語や理解困難な部分があっても、推測したり、辞書を活用して読みすすめようとする。 | ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けることができる。 | ・ペアでの言語活動を観察する。<br>・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | ○「英語表現の能力」 | | | |
| | | 各 Part ごとに、Pre-reading の段階において、Warm-up の活動として教師の発する問いに、積極的に応答することができる。 | 各 part ごとに、教師との対話を通して、Q&A の問いに積極的に答えることができる。 | 各パートの内容を理解し、自分の言葉でノート等に表現することができる。 | ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「英語理解の能力」 | | | |
| | | 各 Part の本文の内容をイメージでき、内容を理解することができる。 | 教師の英文の細かな解説を理解し、ノートをとる。 | タスク活動を通じて、推測しながら概要活動を行うことができる。 | 定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | 英文の内容を理解できる。 | 本文中で用いられている意味や用法を確認する。 | 文法表現の使い方を理解している。例示する表現の使い方を理解している。 | ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |

※令和３年度以前入学生用

| | | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|
| Topic2<br>（５時間） | Teach Every Child about Food (Going Global より)<br><br>Lesson1 Water Crisis (SDGs 長文より) | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | 先進国における肥満の問題について考え、互いに協力しながら会話を続ける。また世界の水問題についても考える。 | 各セクションを読む前に、未習語や理解困難な部分があっても、推測したり、辞書を活用して読みすすめようとする。 | ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けることができる。 | ・ペアでの言語活動を観察する。<br>・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | ○「英語表現の能力」 | | | |
| | | 各 Part ごとに、Pre-reading の段階において、Warm-up の活動として教師の発する問いに、積極的に応答することができる。 | 各 part ごとに、教師との対話を通して、Q&A の問いに積極的に答えることができる。 | 各パートの内容を理解し、自分の言葉でノート等に表現することができる。 | ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「英語理解の能力」 | | | |
| | | 各 Part の本文の内容をイメージでき、内容を理解することができる。 | 教師の英文の細かな解説を理解し、ノートをとる。 | タスク活動を通じて、推測しながら概要活動を行うことができる。 | 定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | 英文の内容を理解できる。 | 本文中で用いられている意味や用法を確認する。 | 文法表現の使い方を理解している。例示する表現の使い方を理解している。 | ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
| Topic3<br>（５時間） | Markus Rehm, “The Blade Jumper” (Going Global より)<br><br>Lesson6 Gender Equality<br>Lesson13 Gender equality is the top priority of global issues (SDGs 長文より) | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | パラリンピック選手マルクス・レームの生きざまに触れ、オリンピックを通じた社会貢献について考える。また障がい者や女性を含めた平等な社会の実現について考える。 | 各セクションを読む前に、未習語や理解困難な部分があっても、推測したり、辞書を活用して読みすすめようとする。 | ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けることができる。 | ・ペアでの言語活動を観察する。<br>・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | ○「英語表現の能力」 | | | |
| | | 各 Part ごとに、Pre-reading の段階において、Warm-up の活動として教師の発する問いに、積極的に応答することができる。 | 各 part ごとに、教師との対話を通して、Q&A の問いに積極的に答えることができ | 各パートの内容を理解し、自分の言葉でノート等に表現することができる。 | ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |

※令和３年度以前入学生用

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | る。 | | |
| | | 「英語理解の能力」 | | | |
| | | 各 Part の本文の内容をイメージでき、内容を理解することができる。 | 教師の英文の細かな解説を理解し、ノートをとる。 | タスク活動を通じて、推測しながら概要活動を行うことができる。 | 定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | 英文の内容を理解できる。 | 本文中で用いられている意味や用法を確認する。 | 文法表現の使い方を理解している。例示する表現の使い方を理解している。 | ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
| Topic４<br>（５時間） | The Most Frugal President in the World (Going Global より)<br><br>Lesson3 Plastic Waste (SDGs 長文より) | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | ホセ・ムヒカの主張から、プラスチック問題の解決を含めた持続可能な社会の実現について考え、互いに協力しながら会話を続ける。 | 各セクションを読む前に、未習語や理解困難な部分があっても、推測したり、辞書を活用して読みすすめようとする。 | ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けることができる。 | ・ペアでの言語活動を観察する。<br>・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | ○「英語表現の能力」 | | | |
| | | 各 Part ごとに、Pre-reading の段階において、Warm-up の活動として教師の発する問いに、積極的に応答することができる。 | 各 part ごとに、教師との対話を通して、Q&A の問いに積極的に答えることができる。 | 各パートの内容を理解し、自分の言葉でノート等に表現することができる。 | ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「英語理解の能力」 | | | |
| | | 各 Part の本文の内容をイメージでき、内容を理解することができる。 | 教師の英文の細かな解説を理解し、ノートをとる。 | タスク活動を通じて、推測しながら概要活動を行うことができる。 | 定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |

※令和３年度以前入学生用

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 英文の内容を理解できる。 | 本文中で用いられている意味や用法を確認する。 | 文法表現の使い方を理解している。例示する表現の使い方を理解している。 | ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
| Topic５<br>（５時間） | Will Japan Became a Top Tourist Destination? (Going Global より) | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | 観光立国を目指すうえでの日本の問題点について考え、互いに協力しながら会話を続ける。また、性差のない社会の実現に | 各セクションを読む前に、未習語や理解困難な部分があっても、推測したり、辞書を活用して読みすすめようとする。 | ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けることができる。 | ・ペアでの言語活動を観察する。<br>・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | ○「英語表現の能力」 | | | |
| | | 各 Part ごとに、Pre-reading の段階において、Warm-up の活動として教師の発する問いに、積極的に応答することができる。 | 各 part ごとに、教師との対話を通して、Q&A の問いに積極的に答えることができる。 | 各パートの内容を理解し、自分の言葉でノート等に表現することができる。 | ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「英語理解の能力」 | | | |
| | | 各 Part の本文の内容をイメージでき、内容を理解することができる。 | 教師の英文の細かな解説を理解し、ノートをとる。 | タスク活動を通じて、推測しながら概要活動を行うことができる。 | 定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | 英文の内容を理解できる。 | 本文中で用いられている意味や用法を確認する。 | 文法表現の使い方を理解している。例示する表現の使い方を理解している。 | ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | 単元の目標 | 主な学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 |
| Topic6<br>（５時間） | When Artificial Intelligence Goes Beyond Human Intelligence (Going Global より) | 「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」 | | | |
| | | 目覚ましい発展を遂げる人工知能について考え、協力して会話を続ける。 | 各セクションを読む前に、未習語や理解困難な部分があっても、推測したり、辞書を活用して読みすすめようとする。 | ペア・ワークにおいて、互いに協力しながら会話を続けることができる。 | ・ペアでの言語活動を観察する。<br>・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |

※令和３年度以前入学生用

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | ○「英語表現の能力」 | | | |
| | | 各 Part ごとに、Pre-reading の段階において、Warm-up の活動として教師の発する問いに、積極的に応答することができる。 | 各 part ごとに、教師との対話を通して、Q&A の問いに積極的に答えることができる。 | 各パートの内容を理解し、自分の言葉でノート等に表現することができる。 | ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |
| | | 「英語理解の能力」 | | | |
| | | 各 Part の本文の内容をイメージでき、内容を理解することができる。 | 教師の英文の細かな解説を理解し、ノートをとる。 | タスク活動を通じて、推測しながら概要活動を行うことができる。 | 定期テストの筆記テストにおいて、内容理解を問う出題により、内容理解ができているかを判断する。 |
| | | 「言語や文化についての知識・理解」 | | | |
| | | 英文の内容を理解できる。 | 本文中で用いられている意味や用法を確認する。 | 文法表現の使い方を理解している。例示する表現の使い方を理解している。 | ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。 |